

教養学部 教養学科 現代社会専修課程

養成人材

人文学及び関連する社会科学の諸成果を継承し、多様な文化及び価値観を理解するとともに、自ら問題を設定・解決し、国内外の人々との確に意思を疎通できる能力を培うことを通して、現代の文化及び社会の諸問題に対処し得る人材を育成することを教育研究上の目的とする。

学位授与の方針

教養学部では、現代の文化及び社会の諸問題に対処し得る人材になるため以下の知識、能力を身につけ、卒業要件として定めている124単位を修得した学生に学士(教養)の学位を授与する。

(1) 専門的な深い知識の修得に関連する事柄

所属する専修課程(グローバル・ガバナンス専修課程、現代社会専修課程、哲学歴史専修課程、ヨーロッパ・アメリカ文化専修課程、日本・アジア文化専修課程)における学修によって、次のa~dを達成している。

- a. 各分野で蓄積された先行研究の成果をよく理解し、体系的で深い専門知識を修得する。
- b. 専門分野の方法(語学を含む)に習熟する。
- c. 専門分野に関して自身で問題を設定し、それについて探求・解決する能力を身につけている。
- d. 自身の研究成果を他者に説明し議論する能力を身につけている。

(2) 専門性のある幅広い基本的知識の修得に関連する事柄

次のa, bを達成している。

- a. 人文学・社会科学・自然科学に関する幅広い基本的知識を修得する。
- b. 所属する専修課程の専門分野に関連する分野の基本的知識を修得する。

(3) 知識を活用できる汎用的な能力の修得に関連する事柄

次のa~dを修得している。

- a. 幅広い視点に立って、自身で問題を設定する能力
- b. 設定した問題について情報や知識を的確に調査・収集する能力
- c. 設定した問題について多面的かつ論理的に考える能力
- d. 自らのアイデアを的確に伝える能力(語学の運用能力を含む)

(4) 学部における人材養成の目的に合致した能力の修得に関連する事柄

次のa, bを修得している。

- a. 国際的視野を持ち、国内外の多様な文化および価値観を理解する能力
- b. 現代の文化や社会の問題にさまざまな形で取り組む能力

教育目標

- 1 人文社会科学系専門科目を学修するための幅広い基礎を修得する。
- 2 所属専修課程(現代社会)における基本的な専門知識を修得する。
- 3 所属専修課程(現代社会)における特定の専門知識を修得する。
- 4 所属専修課程(現代社会)における専門分野の理解を深め、その知識を運用するための方法を修得する。
- 5 演習や卒業論文作成を通じて、所属専修課程(現代社会)の専門分野に関する問題設定と課題解決をする能力、およびその成果を発表する能力を育む。

年次	科目	到達目標	教育目標1	教育目標2	教育目標3	教育目標4	教育目標5
1~2	社会学入門	この講義では、これまでの社会学者たちが考案してきた「社会」についての分析手法や分析概念を検討しながら、学術的に「社会」を考察するための知識を身につけることを目標とします。	◎	○			
1~2	地理学入門	地理学の基礎的な知識を獲得し、地理学的なものの見方を養う。	◎	○			
1~2	現代社会論	(1) ひと-ひとの関係やひと-社会の関係に注目して、さまざまな現象を探求する社会学の基本的な「ものの見方」を理解する (2) 自分が関心を持っている身近な出来事や時事、事件について、社会的・歴史的な背景を想像する姿勢を身につけ、新しく捉え直すことができるようになる	○	◎			
1~2	社会心理学入門	(1) 関連する社会心理学の用語(テクニカルターム)について、その意味が説明できるようになる。 (2) 扱うテーマについて関連する基本的な研究が解説できるようになる。 (3) 扱うテーマについて自分の具体的な経験と結びつけて説明できるようになる。	○	◎			
1~2	メディア論入門	(1) マス・コミュニケーションに関わる基礎的な理論を理解し、歴史上や現代社会における具体的な事例について理論に基づいた説明・考察ができる。 (2) コンピューター媒介コミュニケーション(Computer mediated communication)に関わる基礎的な理論を理解し、歴史上や現代社会における具体的な事例について理論に基づいた説明・考察ができる。	○	◎			
1~2	文化人類学入門	1. 文化人類学の基本的な視点、考え方、理論を習得する。 2. 文化人類学の視点から具体的な事例を検討することによって、文化と社会の多様性を理解する。 3. 上記のことを通じて、異文化とともに自分自身の属する社会と文化について深く理解し分析する能力を身につける。	○	◎			
1~2	Investigating Japanese Art History via Contemporary Visual Media	Understanding art historical concepts through analysis of products of contemporary visual media	○	◎			
2	メディア分析法	(1) メディアから収集できるデータの種類や特徴を理解する。 (2) 文字データを量的に分析するためのスキルを身につける。		○		◎	
2	社会統計学	この講義は、社会調査に必要な基礎的な統計学に関する知識や技能を身につけることを目的とします。		○		◎	
2	社会調査法	(1) 現代社会を特徴づける人間の活動のひとつである社会調査について、その背景や内容について基本的知識を習得する (2) 社会学的な社会調査の方法論と成果について基本的理解を得る		○		◎	

2	文化人類学実習A (文化人類学理論実習)	文化人類学の専門理論を正しく理解し、その理論を用いてデータの分析ができるようになること。		○	◎	
2	文化人類学実習B (文化財資料実習)	・文化人類学における物質文化研究の意義を理解する。 ・博物館資料の見学・調査や文献調査によって、物質文化研究の方法を習得し実践する。 ・物質文化を資料とする記述、写真撮影、作図、パワーポイント作成など、学術的に有効なプレゼンテーションをおこなう技術を習得する。 ・物質文化や文化遺産の社会活用、社会的意義について認識を深める。		○	◎	
2	地理学実習A (地理学実習基礎)	統計の活用方法や地理情報システムの基礎を学習し、自らの必要に応じて適切に使いこなせるようになる。		○	◎	
2	地理学実習B (地理学実習応用)	グループ又は個人で調査を実施し、地理情報を収集・分析・可視化することができる。聞き取り調査に基づくデータの収集と分析ができる。		○	◎	
3	地理学実習C (地理学野外実習Ⅰ)	現地観察において、何に対してどのように注目することで地域の特性を把握することができるのか、そうした視点を身につけること、また対象とする地域について理解することを目指す。		○	◎	
2~4	地理学実習D (地理学野外実習Ⅱ)	自ら獲得した知識をもとに課題を設定し、その解決や実状把握に向けた選択、行動を示すことができるようになる。		○	◎	
2~3	フィールドワーク論Ⅰ	信憑性の高い数量データである官公庁による統計資料の存在を認識すると共に、それらに基づいて客観的に社会状況を把握するための知識と技能を実践的に身に付ける		○	◎	
2~3	フィールドワーク論Ⅱ	・社会科学における質的調査法としてのフィールドワークの手法の基本を理解する。 ・今日の日本の介護をめぐる問題を、調査を通して理解する。		○	◎	
2	Integrated English Skills (Communication) IA	To aid communicative fluency in English.				◎
2	Integrated English Skills (Communication) IB	To help learners gain more fluent interaction in English conversation and become aware of how to develop a conversation from a single topic. Students should show a good ability to control conversations in pairs or in groups and develop an awareness of weak parts of their communication skills they need to study more.				◎
2	Integrated English Skills (Writing) IIA	To help guide learners to more logical and organised writing for academic style reports/texts.				◎
2	Integrated English Skills (Writing) IIB	To help guide learners to more logical and organised writing for academic style reports/texts and to raise awareness about the writing format required for writing reports and dissertations. There will be a particular focus in the use of citations, sources and researched based writing in this semester.				◎
3	Integrated English Skills (Reading) IIIA	To help learners develop more effective reading skills through both extensive and intensive reading and to develop conversation skills based on reading material.				◎
3	Integrated English Skills (Reading) IIIB	To help learners develop more effective reading skills through both extensive and intensive reading and to develop conversation skills based on reading material.				◎
2	メディアコミュニケーション概論	メディアコミュニケーションを巡る現象を通して現代社会の様相を考えるための基礎知識を習得すると共に、メディアおよびコミュニケーションを巡る社会学の視座について理解を深めることを目的としている。メディアやコミュニケーションは現代社会において「情報」の伝達や受発信の観点から重要視され、その良否や効用について議論されるのが常であるが、本講義ではこのような近代産業社会的な枠組みを超え、それらの本質からの考察を通して現代社会の様相を捉える礎を築くことをも目的としている。		◎	○	
2	情報システムの社会学	人間同士の情報交換は広義のコミュニケーションシステム上に立ち現れる情報システムによってなされるが、情報システムの現れ方や認識はさまざまな状況に応じた「コト」であるため、その背景にある社会の構造や文化に応じて情報としての意味づけやシステムとしての機能が異なっている。このように、情報システムが人々の行動様式とその社会状況とが複雑に絡み合って醸成されてきたことと同時に、社会を形作る仕組みそのものともいえる情報システムの認識が情報技術の進展普及のみならず社会の情報化を促進してきたことを理解することを目的としている。また、このような文脈においてコンピュータをはじめとした現代の情報通信技術に基づいた情報システムの機能的特性の面から現代の社会現象や社会問題について考察することも目的としている。		◎	○	
2	情報通信技術概論	メディアコミュニケーションの基盤である現代の情報技術の核をなすコンピュータや通信システムの基本動作原理を理解すると共に、現代社会の問題を人々の情報行動を形作ってきた技術の歴史的経緯を踏まえつつ捉え議論できる知識基盤を形成することを目的としている。		◎	○	

2	ラテンアメリカ民族誌	1. ラテンアメリカ地域における民族誌の基礎知識を身につける。 2. 民族誌からの情報収集・総合能力及び文献批判能力を身につける。		◎	○		
2	東南アジア民族誌	歴史的背景を踏まえながら、東南アジア社会の文化・宗教・政治の多様性を理解しつつ、これまで書かれた民族誌から異文化理解のための文化人類学的手法を具体的に学ぶ。		◎	○		
2	西アフリカ民族誌	西アフリカ諸国の社会と文化の全般的特徴とその多様性を、文化人類学の資料（民族誌）の検討を通じて歴史的背景も含めて立体的に把握し、今日の西アフリカのダイナミズムの根底にある論理を理解するとともに、我々の社会や文化との連続性についての認識を深め、異なる文化を理解するための文化人類学的手法を具体的に学び、世界の多様性の実態について新たな視点を獲得する。		◎	○		
2	ヨーロッパ民族誌	ヨーロッパ社会の全般的特徴とその多様性を、歴史的背景も含めて立体的に把握し、今日のヨーロッパのダイナミズムを理解するとともに、異なる文化を理解するための文化人類学的手法を理解する。		◎	○		
2	日本民族誌	日本列島に住む人々の社会と文化の全般的特徴とその多様性を、文化人類学や日本民俗学の資料（民族誌・民俗史）の検討を通じて歴史的背景も含めて立体的に把握し、今日の日本のダイナミズムの根底にある論理を理解するとともに、自らの文化を理解するための文化人類学的手法を具体的に学び、世界の多様性の実態について新たな視点を獲得する。		◎	○		
2	ヨーロッパ地誌	本授業の目的は3つである ① ヨーロッパの都市の歴史とその発展の基本的な知識を身に付けること ② 都市化を促進する原因とそれらが生み出す様々な都市の類型を学ぶこと ③ ヨーロッパの都市の主な特徴を学ぶこと		◎	○		
2	地域環境論Ⅰ	達成目標は以下の2つです。 ① 環境問題や食の問題を多角的に読み解くことができるようになるための基礎知識の習得を目指します。具体的には、本授業では、環境問題とはそもそも何なのか、それがなぜ起きようになったのか、歴史的背景を学びます。そして、環境問題を考えるにあたっては、そもそもヒトが「自然」をどのように捉えてきたのか、を理解することもまた重要であると考えます。「自然観」というものは多様に存在し、文化的背景や学問的立場によっても大きく異なります。本授業では、「ヒトと自然」を取り上げてきた、生態人類学（環境人類学、一部の文化人類学含む）、環境社会学、環境倫理学、生態学、生物学など、それぞれの分野の基本的な立場や分析視点を外観し、それぞれの学問分野の相違や類似点の大枠を学びます。 ② 他者とディスカッションすることの楽しさと困難さを学び（改善点を見出し）、グループワークに積極的に参加する精神・技術を鍛えます。		◎	○		
2	地域環境論Ⅱ	到達目標は以下の3つです。 ① 環境問題や食の問題を多角的に読み解き、現場で問題解決に取り組むための基礎知識の習得を目指します。環境問題を考えるにあたって、そもそもヒトが「自然」をどのように捉えてきたのか、を理解することが重要であると考えます。 これまでに認識している「環境」を幅広い視点から捉えなおし、「社会」「生業」「開発」といったテーマに関する問題発見力を養います。 ② 他者との意見交換（ディスカッション）を通して、そのことの楽しさと困難さを学ぶとともに、自分自身の意見を整理すること、それを他者に説得的に表現する方法を理解します。ひとつの課題をテーマとしても、そこに多様な意見が存在することを理解します。 ③ 本授業では、担当教員の2名が対談形式で行う場面も設けます。アカデミックなディスカッション（質疑応答）の基本について理解します。		◎	○		
2	歴史民俗学	日本の旧農村地域の生活文化への理解を深めるとともに、自らその知識を得る方法を身につける。		◎	○		
2	国際人口移動概論	(1) 人々が国境を越えて移動する背景を多角的に理解する。 (2) 移住過程で生じるさまざまな課題と、それに対する政府・自治体・地域社会・移民当事者等の取り組みについて、国内外の複数の事例から捉える。		◎	○		
3	集団の社会心理学	(1) 関連する社会心理学の用語（テクニカルターム）について、その意味が説明できるようになる。 (2) 扱うテーマについて関連する基本的な理論と研究が解説できるようになる。 (3) 扱うテーマについて自分の具体的な経験と結びつけて説明できるようになる。 (4) 社会心理学のトピックについて基本的なプレゼンテーションができるようになる		○	◎		

3	情報の技術とシステムの歴史	本講義は、現代文明の核をなすデジタル情報技術が生み出され活用されるようになった文化的経緯を探ることを通して、現代社会の情報基盤が依拠する社会的な原理とその特性を明らかにすることを目的としている。本講義では、人々が社会生活を営む上で不可欠な情報活動が電子情報技術が開発される以前にはどのように為されてきたかを理解すると共に、電子情報技術が社会的に及ぼす影響を個人々の精神的活動をも視野に含めて議論するための知識基盤を形成することを目的としている。	○	◎		
3	社会学特殊講義Ⅰ	(1) 社会運動の背景となる日本社会の構造や歴史についての理解を深めるとともに、社会に変化をもたらそうと試みる社会運動の意味と可能性を理解する (2) 社会運動を研究する社会運動論についての知識を深める	○	◎		
3	社会学特殊講義Ⅱ	(1) 質的調査と質的データの分析に関する基本的知識を習得する (2) 聞き取り調査、参与観察、フィールドワーク、ドキュメント分析を中心に、それぞれの方法論を具体的な研究例をとおして学ぶとともに、その特徴とおもしろさについて考察する (3) 聞き取り調査の基本的技能を身につける	○	◎		
3	社会学特殊講義Ⅲ	この講義の目標は、社会調査の理論と方法について基礎的な知識を身につけるとともに、自らの問題意識にそって実際に社会調査を実施できる技能を身につけることです。	○	◎		
3	社会学特殊講義Ⅳ	この講義では社会学的な視点から、病気や健康、医療システムについて考察するための概念や理論を身につけることを目的とします。	○	◎		
3	社会学特殊講義Ⅴ	(1) 質的調査と質的データの分析に関する基本的知識を習得する (2) 聞き取り調査、参与観察、フィールドワーク、ドキュメント分析を中心に、それぞれの方法論を具体的な研究例をとおして学ぶとともに、その特徴とおもしろさについて考察する (3) 聞き取り調査の基本的技能を身につける	○	◎		
3	社会学特殊講義Ⅵ	(1) 社会運動の背景となる日本社会の構造や歴史についての理解を深めるとともに、社会に変化をもたらそうと試みる社会運動の意味と可能性を理解する (2) 社会運動を研究する社会運動論についての知識を深める	○	◎		
3	社会学特殊講義Ⅸ	・「性の多様性」やそれをめぐって生じている社会的課題を理解すること。 ・ジェンダーの社会学の視座を理解し、日常的に生じている性をめぐる様々な規範や制度について考察できるようになること。	○	◎		
3	社会調査方法論	(1) 調査系論文を正しく読むための前提となる知識を身につける。 (2) 社会調査の設計や実施方法に関する基礎的な知識を身につける。	○	◎		
3	都市研究概説	・近代都市に関係する諸問題を理解すること。 ・都市研究の視座を理解し、身の回りを取り巻く空間について、社会学、地理学、文化人類学等の視点から、多角的に考察できるようになること。	○	◎		
3	広報・広告論	広報（パブリック・リレーションズ）と広告の基礎概念について説明できる。事例を挙げ、マーケティングや倫理、危機管理など適切な枠組みで分析することができる。現代のメディア環境やステークホルダーの状況に基づき、広報広告戦略を立案し、議論することができる。	○	◎		
3	人類と社会の進化	生物進化のメカニズムと人類の進化をたどることで、人類の本来の特徴を理解するとともに、現在に至るまでの人類の社会と文化の道筋をたどることで、人間の生物学的特徴と、今日の人間社会の多様性の根源を理解する。	○	◎		
3	考古人類学	1. 文明や歴史に対する文化人類学の視点について理解する。 2. 物質資料をもちいた社会の研究方法について習得する。 3. 考古学資料の分析によって社会について明らかにする方法を理解する。	○	◎		
3	宗教人類学	宗教人類学の基本的な考え方や諸概念を理解し、様々な宗教現象についての基礎知識を身につけ、宗教人類学的視点から現代生活における多様な宗教の諸相や文化や社会を分析できるようになることを目標とする。	○	◎		
3	民族誌学	古典的な民族誌のいくつかに触れながら、文化を「記述すること」や文化を「理解すること」を取り巻く様々な問題を概観する。	○	◎		
3	エスノヒストリー	1. 文化人類学蓄積してきた無文字社会（あるいは非文字社会）に関する研究成果から、その社会のあり方と文化の特徴について検討し、「文字」を相対化する視点を獲得する。 2. 文字および文字を持つ社会について、文化人類学の視点から理解する。 3. 歴史的な出来事としての「無文字社会と文字社会の出会い」によってどのようなことが起こったかについて知り、それが今日の人類社会が抱える様々な問題とどのように関連しているかについて理解を深める。	○	◎		
3	経済人類学	経済人類学の基本的な考え方や諸概念を理解し、経済人類学的視点から文化や社会を分析できるようになること。	○	◎		

3	開発人類学調査法	実際にカンボジア農村に赴き、カンボジア農村という異なる習慣・文化を持つ人々の中に身をおいて、既存の資料も踏まえて実際にインタビュー調査を行うことで、現地の農村地域に住んでいる人たちの教育や生活をめぐる状況を十分に理解するとともに、異文化理解の難しさを理解し、自文化を相対化できるようになること。		○	◎		
3	自然地理学	(1) 自然地理学の概要と流れを理解し、自然地理事象の形成過程を理解する。 (2) 自然の営為と人間との関わりについて、身近な体験から考える力を身につける。		○	◎		
3	地誌学	地誌学における地域の考え方、見方を理解し、地誌学において様々なスケールの地域をどう記述し説明しようとしているのかその手法を説明することができる。		○	◎		
3	東アジア地誌	ある場所で生じている事象がそのみにて生じているわけではなく、自然・人文社会的な要素の複雑な絡み合い、各国・各地域との関係性のもとに生じていることを理解する。様々な立場から物事をとらえる視点を養う。		○	◎		
3	都市地理学	都市をさまざまな角度から見つめ直す作業を通じて、都市、ひいては現代社会に生きる自身を問い直す。		○	◎		
3	農村地理学	今日の農山村地域においては、高齢化の進展や農地の荒廃など様々な問題が生じていることが指摘されている。こうしたネガティブな側面がみられる一方で、農業に観光その他の就業を組み合わせることで農家世帯が安定して居住を継続させたり、都市からの人口流入によって農村の経済、社会、環境が維持されている例もみられる。ここでは、地理学の立場から、日欧米における事例を中心に、現代農村における人口の質的变化、すなわち就業変化や人口流入がどのように生じているのか、それが農村の持続性に寄与するのか、その実態と把握する方法を理解することを目的とする。		○	◎		
3	文化地理学	1) 文化地理学の方法論が説明できる。 2) 文化・社会・空間構造を通して、特定の地域の特色を説明できる。 3) 「多文化共生」を謳うにあたり、何が問題で、どのように振る舞えば課題解消に向けて動き出すのか、自分の言葉で説明できる。		○	◎		
3	歴史地理学	歴史地理学に関する既往の研究例を通じて、その基本的な手法を理解できることを目標とする。		○	◎		
3	Animation Studies I	This course is in collaboration with academics from Australian universities, utilizing online guest lectures. Due to the current pandemic situation, course could be offered as online course. Introducing the academic field of Animation Studies with regards to animation production, animation aesthetics and the role of animation and sequential art in popular culture.		○	◎		
3	Animation Studies II	This course is in collaboration with academics from Australian universities, online lectures are a possibility. Introducing the academic field of Animation Studies with regards to animation production, animation aesthetics and the role of animation and sequential art in popular culture.		○	◎		
3~4	*社会人類学研究 I	現在の社会人類学の基本的考え方を、基礎的な諸著作の読解を通じて理解する。		○	◎		
3~4	*社会人類学研究 II	現在の社会人類学の基本的考え方を、重要な諸著作の読解を通じて理解する。		○	◎		
3~4	*社会問題論研究 I	社会問題に関する文献を収集・読解し、適切に要約・報告する能力を身につけること、ならびに自身の研究計画について適切に報告できる能力を身につけることを目標とします。		○	◎		
3~4	*社会問題論研究 II	社会問題に関する文献を収集・読解し、適切に要約・報告する能力を身につけること、ならびに自身の研究計画について適切に報告できる能力を身につけることを目標とします。		○	◎		
3~4	*市民社会論研究 I	(1) 市民社会論の論点と系譜について基本的な理解を得る (2) 日本の市民社会の歴史と現状にかんする理解と考察を深める		○	◎		
3~4	*市民社会論研究 II	(1) 市民社会論の論点と系譜について基本的な理解を得る (2) 日本の市民社会の歴史と現状にかんする理解と考察を深める		○	◎		
3~4	*国際人口移動研究 I	(1) 適切なソースから文献や資料を収集し、それを正しく読解・要約・報告する能力を身に付ける。 (2) 卒業研究に向けて、自らの学問的関心や問題意識を明確化し、研究計画を作成する能力を身に付ける。		○	◎		
3~4	*国際人口移動研究 II	(1) 適切なソースから文献や資料を収集し、それを正しく読解・要約・報告する能力を身に付ける。 (2) 卒業研究に向けて、自らの学問的関心や問題意識を明確化し、研究計画を作成する能力を身に付ける。		○	◎		

3~4	*Urban Geography of Japan	This course has three major objectives: 1) Providing basic knowledge about the history of cities and their development in Japan. 2) Learning about factors that drive urbanization and the different forms of cities they create. 3) Learning about the major characteristics of Japanese cities.		○	◎		
3~4	*Regional Geography of Japan	The major objectives of this course are to become familiar with and deepen one's knowledge about regional differences in Japan.		○	◎		
3~4	*Colloquium in Social Geography I	This course has three major objectives: 1) Learning about the characteristics of inner city areas in Japan. 2) Understanding the history and recent changes of inner city areas in Japan. 3) Becoming familiar with the academic discourse about inner city areas, in reference to Japan.		○	◎		
3~4	*社会地理学演習 II	1) 社会地理学とメンタルヘルス研究との交差による学術的な知見を説明できる。 2) 現代社会が抱える喫緊の課題を説明できる。 3) 課題の解消に向けて、自分がどのように振る舞い、社会にどのように働きかけるか、考える力を涵養する。		○	◎		
3~4	*Seminar in Contemporary Japanese Social Theory I	This course has three major objectives: 1) Learning about the development of housing in postwar Japan 2) Learning about cities in postwar Japan 3) Deepening of research and presentation skills		○	◎		
3~4	*Seminar in Contemporary Japanese Social Theory II	This course has three major objectives: 1) Learning about housing in post-growth Japan 2) Learning about cities in post-growth Japan 3) Deepening of research and presentation skills		○	◎		
3~4	*The Japanese Welfare State	This course has three major objectives: 1) Learning about homelessness and homeless policies in Japan. 2) Understanding changes the Japanese welfare state underwent through the topic of homelessness. 3) Learning about different approaches to this topic in the academic literature.		○	◎		
2~4	*国際協力研究 I	1) Learning about homelessness and homeless policies in Japan.		○	◎		
2~4	*国際協力研究 II	2) Understanding changes the Japanese welfare state underwent through the topic of homelessness.		○	◎		
2~4	*国際協力研究 III	3) Learning about different approaches to this topic in the academic literature.		○	◎		
2~4	*国際協力研究 IV	国際開発・国際協力分野の基本的な理論や知識、最新の主要な課題を理解する。		○	◎		
2~4	社会学演習 I	エスノメソドロジーと会話分析の分析法を理解する。				○	◎
2~4	社会学演習 II	エスノメソドロジーと会話分析の方法で人間の相互行為を分析できる能力を獲得する。				○	◎
2~4	社会学演習 III	エスノメソドロジーと会話分析の分析法を理解する。				○	◎
2~4	社会学演習 IV	エスノメソドロジーと会話分析の方法で人間の相互行為を分析できる能力を獲得する。				○	◎
2~4	社会学演習 V	(1) 社会学分野での卒業研究に向けて、自分の社会的関心のありかを発見する (2) 自分が関心を持ったテーマについて、社会的な視点に立って調査研究を進める能力を身につける				○	◎
2~4	社会学演習 VI	(1) 社会学分野での卒業研究に向けて、自分の社会的関心のありかを発見する (2) 自分が関心を持ったテーマについて、社会的な視点に立って調査研究を進める能力を身につける				○	◎
2~4	社会学演習 VII	(1) 現代社会の問題（広義の社会問題）について、社会学の視点に基づいて調査研究を行う能力を身につける (2) 社会学に関する文献を読解、要約、報告する能力を身につける				○	◎
2~4	社会学演習 VIII	現代社会の諸問題（広義の社会問題）について、自分の問題関心に沿って調査研究を行うための基礎的な能力を身につけること				○	◎
2~4	社会学演習 IX	(1) 現代社会の問題（広義の社会問題）について、社会学の視点に基づいて調査研究を行う能力を身につける (2) 社会学に関する文献を読解、要約、報告する能力を身につける				○	◎
2~4	社会学演習 X	現代社会の諸問題（広義の社会問題）について、自分の問題関心に沿って調査研究を行うための基礎的な能力を身につけること				○	◎
2~4	社会学演習 X I	(1) 社会学分野での卒業研究に向けて、自分の社会的関心のありかを発見する (2) 自分が関心を持ったテーマについて、社会的な視点に立って調査研究を進める能力を身につける				○	◎
2~4	社会学演習 X II	(1) 社会学分野での卒業研究に向けて、自分の社会的関心のありかを発見する (2) 自分が関心を持ったテーマについて、社会的な視点に立って調査研究を進める能力を身につける				○	◎

2~4	社会学演習ⅩⅢ	(1) 社会学分野での卒業研究に向けて、自分の社会学的関心のありかを発見する (2) 自分が関心を持ったテーマについて、社会学的な視点に立って調査研究を進める能力を身につける					○	◎
2~4	社会学演習ⅩⅣ	(1) 社会学分野での卒業研究に向けて、自分の社会学的関心のありかを発見する (2) 自分が関心を持ったテーマについて、社会学的な視点に立って調査研究を進める能力を身につける					○	◎
2~4	現代社会学演習Ⅰ	(1) 現代社会におけるさまざまな問題のなかから自分の関心を見つけ、卒業研究を見据えた問題意識を醸成する。 (2) 関心のあるテーマに関連する文献を探索、読解、要約する能力を身に付ける。					○	◎
2~4	現代社会学演習Ⅱ	(1) 現代社会におけるさまざまな問題のなかから自分の関心を見つけ、卒業研究を見据えた問題意識を醸成する。 (2) 関心のあるテーマに関連する文献を探索、読解、要約する能力を身に付ける。					○	◎
2~4	現代社会学演習Ⅲ	(1) 現代社会におけるさまざまな問題のなかから自分の関心を見つけ、卒業研究を見据えた問題意識を醸成する。 (2) 関心のあるテーマに関連する文献を探索、読解、要約する能力を身に付ける。					○	◎
2~4	現代社会学演習Ⅳ	(1) 現代社会におけるさまざまな問題のなかから自分の関心を見つけ、卒業研究を見据えた問題意識を醸成する。 (2) 関心のあるテーマに関連する文献を探索、読解、要約する能力を身に付ける。					○	◎
2~4	情報システム論演習	本演習では、コンピュータによる演算処理の原理と逐次的処理手順としてのアルゴリズムをコンピュータプログラミングという具体的作業を通して理解すると同時に、問題解決に取り組む基本的方法を身に付ける。					○	◎
2~4	メディアコミュニケーション演習Ⅰ	メディアコミュニケーション分野での卒業研究に不可欠な社会学の視座を学ぶと共に、メディアコミュニケーションを巡る現象を通して現代社会の様相を考える取り組みへの礎を形成する。					○	◎
2~4	メディアコミュニケーション演習Ⅱ	メディアコミュニケーション分野での卒業研究に着手するための基礎知識を整理および確認すると共に、卒業研究のテーマ設定に資する社会学的な視座を得る。					○	◎
2~4	メディア文化論演習Ⅰ	メディアコミュニケーション分野での卒業研究のテーマ設定に資する社会的問題の認識と、メディアコミュニケーションを巡る現象を通して問題へ接近するための礎を形成する。					○	◎
2~4	メディア文化論演習Ⅱ	メディアコミュニケーション分野での卒業研究のテーマ設定に資する社会的問題の認識と、メディアコミュニケーションを巡る現象を通して問題へ接近するための礎を形成する。					○	◎
2~4	文化人類学演習Ⅲ (民族誌研究)	1. 文化人類学の民族誌のデータから、様々な権力や国家のあり方について理解を深める。 2. 上記の作業を通じて、文化人類学による社会分析の方法について理解する。 3. 現在の世界で進行している国家、政治、紛争などの問題を文化人類学の視点から考える力と方法を習得する。					○	◎
2~4	文化人類学演習Ⅳ (文化人類学理論)	1. 人間(あるいはその社会、文化)とはなにか、という問いについて文化人類学の様々な著作を材料にして、自分でより具体的に回答可能な問いを設定し、議論を組み立てる。 2. 上記の作業を通じて、文化人類学の基本的な方法と考え方を習得する。					○	◎
2~4	文化人類学演習Ⅴ (医療と社会)	本演習では近代医療では捉えきれない医療と健康の問題を扱う。様々な文化、社会において医療と健康に関する問題が語られなかったことはない。しかし、どのような医療があるか、何が病気とされるのか、そしてどのような状態が健康なのか、はそれぞれの社会ごとに大きく異なる。本演習では、「近代医療」以外の医療システムに焦点を当てて、医療と健康の再考を試みる。 本演習全体を貫く目的は次の2点だ。 ①医療と健康の理解 近代医療が想定する「健康」と「病気」という枠組みは、必ずしも完全なものではなく、その枠組みでは捉えきれない問題が存在する。こうした問題を近代医療ではない別の視点から捉えなおすことで、医療と健康の理解を深める。 ②インタビュー調査とその分析 ①を踏まえ、インタビュー調査を行ってもらおう。インタビュー調査から現代医療の問題を捉えて、医療と健康を改めて相対化してほしい。					○	◎
2~4	文化人類学演習Ⅵ (開発と社会)	開発の社会的文化的側面を理解し、自らの文献調査を通じて開発の諸問題を理解する。					○	◎
4	文化人類学総合演習Ⅰ	研究発表と討議を通じて、文化人類学の研究方法を習得する。					○	◎
4	文化人類学総合演習Ⅱ	問題設定・資料収集・フィールドワーク・データ分析等を総合的におこない、一つの結論を導きだすことができるようになる。					○	◎

3	地理学総合演習 I	地理学に関する論文を理解し、適切に評価しながら読むことができるようになること、またその内容について自らの言葉で要約してプレゼンテーションすること、それをもとに聞き手とディスカッションすること、これらのスキルを身につけることを目標とする。					○	◎
3	地理学総合演習 II	卒業論文の作成に向け、自らの力で研究論文や資料を収集し、読み解き分析する力、それらを基に課題を発見し、その解決に向けて取り組む力を養う。					○	◎
4	地理学演習 I	地理学分野で卒業論文を作成する学生が必要な知識・手法を獲得し、自らの作業に活用する。					○	◎
4	地理学演習 II	地理学に関して卒業論文を書く学生が卒業論文執筆に必要な知識と考え方を学ぶ。					○	◎
2~4	分裂した世界における人権	国際的視野を持ち、国内外の多様な文化および価値観を理解する能力					○	◎
2~4	民族紛争問題	中東の紛争の事例を学ぶことを通じて、世界各地の紛争全般の原因、経過、結果、解決や予防の手法を説明できるようになることを目指す。授業キーワード（下記）を定義づけ、説明できる。関心のある地域の事例について情報収集や分析ができる。					○	◎
2~4	現代のジェンダー	・ジェンダーやセクシュアリティとは何かを様々な事例に即して学び、その基本的な概念を修得していること。 ・自社会におけるジェンダーバイアスを認識し、それをジェンダーの視点から説明することができること ・ジェンダーの視点から、現代社会の課題について、自分の考えをまとめることができること。					○	◎
2~4	現代の民族	・民族の歴史に関する知識を獲得する。 ・グローバリゼーションの中の民族のあり方について理解する。 ・現代世界の諸問題と民族との関係について人類学や社会学等でどのような研究がなされてきたのかを把握する。					○	◎
2~4	比較思想	東アジアの思想的展開を理解することで、多元的文化に向き合う素養を得ることができる。					○	◎
2~4	異文化交流史 I	国境を越えた歴史叙述のあり方を、各テーマに即して習得する。この作業を通じて、広い歴史的視野から異文化を理解するための考え方を養う。					○	◎
2~4	異文化交流史 II	現代の日中関係をめぐる諸問題の背景を理解し、歴史的思考力を身につける。					○	◎
2~4	地中海文化圏講義	翻訳のテキストで、ボッカッチョの「デカメロン」からいくつかの物語を読みます。その中世物語文学の中で女性や恋愛・セクシュアリティがどう描かれているかについて分析します。さらに16世紀の刊本でそれらの表現にどのような検閲が行われたかを見ます。女性や恋愛が、中世においてどのような表現で描かれ、近代的印刷による刊本というメディアの出現の時代、どのような検閲が行われるようになったのかを考えます。さらに20世紀以降の我々の感覚とのズレがどのように生じているのか、現代のメディアにおける女性表象や恋愛観についても考えます。					○	◎
2~4	欧米多文化主義論	アメリカの多文化主義の議論がどのように変化してきたかについて理解する。 アメリカの多文化主義が観光地でどのように実践されているか事例を探し考察できるようになる。 英語の文献を読み議論できるようになる。 授業に関連させた事例を探し考察できるようになる。					○	◎
2~4	世界の中の日本文化	日本・アジア文化における特定の専門知識を修得する。					○	◎
2~4	漢字文化圏比較論	日本・アジア文化における特定の専門知識を修得する。					○	◎
2~4	Contemporary Art and Media in Australia and Asia I	Exposure to art concepts and art works from diverse regions of Asia, Australia and Oceania					○	◎
2~4	Contemporary Art and Media in Australia and Asia II	Exposure to art concepts and art works from diverse regions of Asia, Australia and Oceania					○	◎
2~4	Comparative Higher Education	1.To understand key international higher education components and the historical events of Japanese higher education and the world. 2.To understand issues and challenges of contemporary higher education worldwide with their related policies and practices. 3.To perform your understanding in higher education research by producing research reports on international higher education.					○	◎
4	卒業研究 I	卒業論文を無事に書き上げるための知識を身に付けること						◎
4	卒業研究 II	卒業論文を無事に書き上げるための知識を身に付けること						◎